

製品名: Pbx 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15810**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PBX4
別名	PBX4; Pre-B-cell leukemia transcription factor 4; Homeobox protein PBX4
遺伝子 ID	80714.0
SwissProt ID	Q9BYU1
免疫原	Pbx 4 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 220-300

背景

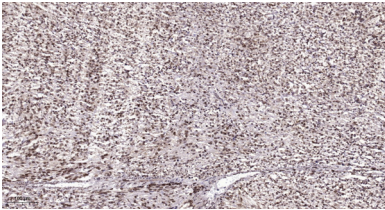
この遺伝子は、プレ B 細胞白血病転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。これらのタンパク質はホメオボックスタンパク質であり、Hox 補因子として、また Hox 非依存的経路を通じて、胚発生および細胞分化において重要な役割を果たします。コード

されているタンパク質はホメオボックス DNA 結合ドメインを含みますが、その具体的な機能は未だ解明されていません。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 5 月],類似性: TALE/PBX ホメオボックスファミリーに属します。類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。